

資料 「労働者の働く意欲と雇用管理のあり方に関する調査」調査票

1 企業調査

労働者の働く意欲と雇用管理のあり方に関する調査 (企業調査)

この調査は、ウィルワン株式会社が独立行政法人労働政策研究・研修機構の委託を受けて行うものです。本調査は、統計以外の目的に使用することはありません。出来る限りご記入いただき、空欄があっても結構ですのでご返送ください。

お忙しいところ恐縮ですが、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

～ご記入に際して～

1. 調査内容は、原則として **2003年12月**現在の状況についてご記入ください。
2. 「あてはまるもの1つ」「あてはまるものすべて」など、調査票に書いてある指示をお読みになりながら、該当する番号に○印、または該当する数字をご記入ください。
3. 出来る限りご記入いただき、空欄があっても結構ですのでご返送ください。
4. ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒（切手不要）にて **2004年1月23日（金）まで**にご投函ください。
5. 調査についてご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

調査実施一般

ウィルワン株式会社（プライバシーマーク認定企業）

担当：****

TEL:****

E-mail:*****

調査内容 労働政策研究・研修機構 情報解析部情報管理課 担当：****

TEL:****/FAX:****/E-mail:*****

- ご希望の方には、アンケートご協力の御礼として、本調査の報告書をお送りいたします。さしつかえなければ報告書の送付宛先をご記入下さい。

御社名			
所在地	〒		
ご氏名		部署名 ／ご役職名	

■この調査では、「就業形態」、「労働生産性」、「OJT」、「Off-JT」については以下のとおりとします。

・就業形態

従業員	正規従業員	雇用している労働者のうち特に雇用期間を定めていない者。なお、パートタイマー及び他企業への出向者は除く。	
	非正規従業員	契約社員	専門的職責に従事させることを目的に契約に基づき雇用し、雇用期間の定めのある者。
		臨時的雇用者	臨時的にまたは日々雇用している者で、1カ月以内の雇用期間の定めのある者。
		パートタイマー（短時間）	いわゆる正社員より1日の所定労働時間が短いか、1週の所定労働日数が少ない者。雇用期間は1カ月を超えるか、または定めのない者。
		パートタイマー（その他）	いわゆる正社員と1日の所定労働時間と1週の所定労働日数がほぼ同じ者。雇用期間は1カ月を超えるか、または定めのない者でパートタイマーその他これに類する名称で呼ぶ者。
		出向社員	他企業より出向契約に基づき出向してきている者。出向元に籍をおいているかどうかは問わない。
その他	派遣労働者	「労働派遣法」に基づく派遣元事業所から派遣された者。	
	職場内の請負社員	業務請負契約により、貴社の事業所内で働いている者。	

・労働生産性：労働生産性とは、従業員一人あたりの付加価値額のこと、これが高いほど従業員の投入に対して生み出す付加価値が高いことを表します。

・OJT：日常の業務につきながら行われる教育訓練

・Off-JT：通常の仕事を一時的に離れて行う教育訓練・研修

仕事に対する意欲について

問1. 貴社の労働生産性について、同業他社と比べてどのように認識されていますか。また、3年前と比較してどのように変化しましたか。それぞれあてはまるものに○をつけてください。

a. 現在

1. 高い	2. どちらかといえば高い	3. どちらともいえない
4. どちらかといえば低い	5. 低い	

b. 3年前との比較

1. 高くなった	2. どちらかといえば高くなった	3. 変わらない
4. どちらかといえば低くなった	5. 低くなった	

問2. 貴社の従業員の仕事に対する意欲について、どのように認識されていますか。また、3年前と比較してどのように変化しましたか。それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

a. 現在

1. 高い	2. どちらかといえば高い	3. どちらともいえない
4. どちらかといえば低い	5. 低い	

b. 3年前との比較

1. 高くなった	2. どちらかといえば高くなった	3. 変わらない
4. どちらかといえば低くなった	5. 低くなった	

問3. 過去3年間、今後3年間の雇用に関する貴社の方針についてあてはまるもの1つに○をつけてください。

	過去3年間					今後3年間				
	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
正規従業員を中心とした長期雇用を維持する	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
従業員の能力・適性によって早い段階から配置・育成について差別化を図る	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
パートタイマー等非正規従業員を積極的に活用する	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	過去3年間					今後3年間				
	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
専門性や経営判断の有無など仕事の内容に応じて就業形態を考慮した最適な人材配置とする	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
評価の基準として年齢や勤続年数よりも成果を重視する	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
昇進・昇格に差を付ける時期を早める	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
従業員の能力開発を強化する	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
仕事と生活の調和に配慮した働き方にする	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
男女の均等処遇をすすめる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問4. 会社の職場の雰囲気は、3年前と比べてどのように変化しましたか。それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

	強まった	どちらかといえば強まった	どちらともいえない	どちらかといえば弱まった	弱まった
	部下や後輩を育てようという雰囲気	1	2	3	4
一人ひとりの能力を活かそうという雰囲気	1	2	3	4	5
ゆとりをもって仕事をしている雰囲気	1	2	3	4	5
職場の業績や成果をあげようという雰囲気	1	2	3	4	5
社員同士が競い合う雰囲気	1	2	3	4	5
仲間と協力して仕事をしようという雰囲気	1	2	3	4	5
一人ひとりが自由に意見を言える雰囲気	1	2	3	4	5
自分の生活時間を大切にしようという雰囲気	1	2	3	4	5

雇用管理制度について

問5 (1) 次の雇用管理制度について、貴社での導入状況についてあてはまるもの1つに○をつけてください。

(2) (1) で貴社で導入している制度について、従業員の働きやすさや働きがいの向上にそれぞれどの程度役に立つと考えていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

	(1)			(2)				
	導入している	現在は導入していないが3年以内に導入を予定	導入の予定はない	大いに役に立つ	役に立つ	どちらでもない(役に立つかわからない)	あまり役に立たない	役に立たない
目標管理制度	1	2	3	1	2	3	4	5
仕事の成果を賃金に反映させる制度	1	2	3	1	2	3	4	5
ストックオプション制度	1	2	3	1	2	3	4	5
年俸制	1	2	3	1	2	3	4	5
自己申告制度	1	2	3	1	2	3	4	5
社内公募制度	1	2	3	1	2	3	4	5
配置・処遇に関する苦情相談制度	1	2	3	1	2	3	4	5
計画的な OJT	1	2	3	1	2	3	4	5
Off-JT 制度	1	2	3	1	2	3	4	5
自己啓発に関する支援制度	1	2	3	1	2	3	4	5
有給教育訓練休暇制度	1	2	3	1	2	3	4	5
資格取得の支援(手当等の支給、昇進・昇格への配慮等)	1	2	3	1	2	3	4	5
外部教育訓練に関する情報提供	1	2	3	1	2	3	4	5
専門職制度	1	2	3	1	2	3	4	5
裁量労働制	1	2	3	1	2	3	4	5
非正規従業員と正規従業員間の転換制度	1	2	3	1	2	3	4	5
フレックスタイム制度	1	2	3	1	2	3	4	5
短時間勤務制度	1	2	3	1	2	3	4	5
変形労働時間制	1	2	3	1	2	3	4	5
在宅勤務制度	1	2	3	1	2	3	4	5
長期休暇制度(リフレッシュ休暇、ボランティア休暇等)	1	2	3	1	2	3	4	5
休業期間が1年を超える育児休業制度	1	2	3	1	2	3	4	5
休業期間が3ヶ月を超える介護休業制度	1	2	3	1	2	3	4	5
育児・介護等を理由に退職した従業員を対象とした再雇用制度	1	2	3	1	2	3	4	5
育児・介護のための始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ	1	2	3	1	2	3	4	5
育児・介護のための残業・休日労働の免除	1	2	3	1	2	3	4	5
(正規従業員について) 転居を伴う転勤のない地域限定の勤務制度	1	2	3	1	2	3	4	5
定年退職者の再雇用・60歳を越えた定年制	1	2	3	1	2	3	4	5

問6. 従業員の働きやすさや働きがいの向上のために重要であると考える事柄をすべてお選びください。
また、その中で貴社で取り組んでいるものに○をつけてください。

	重要である	取り組んでいる
従業員の納得性を確保した評価制度の導入	1	1
個々の従業員の業務遂行にあたっての裁量権の拡大	2	2
本人の意志を重視した配置転換	3	3
労働時間の短縮	4	4
従業員の希望にあった能力開発機会の提供	5	5
仕事と生活との調和への配慮	6	6
福利厚生の実施	7	7
経営方針・事業計画等の情報提供	8	8
上司と部下のコミュニケーションの円滑化	9	9
メンタルヘルス対策の実施	10	10
従業員のキャリア形成に対する支援	11	11
従業員の長期的なキャリアに必要なスキルの明確化	12	12
育児・介護休暇を取得しやすい雰囲気づくり	13	13
正規従業員と非正規従業員の均等処遇を進める	14	14
男女の均等待遇をすすめる	16	16
作業環境の改善	17	17
その他（具体的に)	18	18

正規・非正規従業員について

問7. 正規・非正規従業員の就業形態別の人数は 3 年前と比較してどのように変化しましたか。また、3 年後はどのように変化する見込みですか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

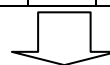
	過去 3 年間							今後 3 年間					
	増加	やや増加	変わらない	やや減少	減少	わからない	在籍なし	増加	やや増加	変わらない	やや減少	減少	わからない
正規従業員全体	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
非正規従業員全体	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6
契約社員	1	2	3	4	6	7	6	1	2	3	4	5	6
臨時的雇用者	1	2	3	4	6	7	6	1	2	3	4	5	6
パートタイマー（短時間）	1	2	3	4	6	7	6	1	2	3	4	5	6
パートタイマー（その他）	1	2	3	4	6	7	6	1	2	3	4	5	6
出向社員	1	2	3	4	6	7	6	1	2	3	4	5	6
派遣労働者	1	2	3	4	6	7	6	1	2	3	4	5	6
職場内の請負社員	1	2	3	4	6	7	6	1	2	3	4	5	6

問8-1. 問7のように非正規従業員全体の構成が変化したことにより 3 年前と比べて会社全体として労働生産性はどのように変化しましたか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1. 高まった 2. やや高まった 3. 変わらない 4. やや低くなった 5. 低くなった 6. わからない

問 8 - 2. 非正規従業員を雇用・活用する理由は何ですか。就業形態別にあてはまるものすべてに○をつけてください。また、それぞれ最も重要だとお考えの番号を、それぞれご記入下さい。

	契約社員	臨時的雇用者	パートタイマー(短時間)	パートタイマー(その他)	出向社員	派遣労働者	職場内の請負社員
正規従業員を確保できないため	1	1	1	1	1	1	1
正規従業員を重要業務に特化させるため	2	2	2	2	2	2	2
専門的業務に対応させるため	3	3	3	3	3	3	3
即戦力・能力のある人材を確保するため	4	4	4	4	4	4	4
景気変動に応じて雇用量を調節するため	5	5	5	5	5	5	5
長い営業(操業)時間に対応するため	6	6	6	6	6	6	6
一日・週の中の仕事の繁閑に対応するため	7	7	7	7	7	7	7
臨時・季節的業務量の変化に対応するため	8	8	8	8	8	8	8
人件費節約のため	9	9	9	9	9	9	9
高年齢者の再雇用対策のため	10	10	10	10	10	10	10
正規従業員の育児・介護休業対策の代替のため	11	11	11	11	11	11	11
その他	12	12	12	12	12	12	12
該当する者がいない	13	13	13	13	13	13	13



最も重要だと思うもの(番号を記入)							
-------------------	--	--	--	--	--	--	--

問 8 - 3. 各就業形態のうち、①正規従業員と同じように仕事をしている非正規従業員、②高度な専門的業務に従事している非正規従業員の比率はどのくらいですか。(各就業形態の人数の合計を 100 とした場合)

	①正規従業員と同じように仕事をしている 非正規 従業員	②高度な専門的業務に従事している 非正規 従業員
非正規従業員	約 割	約 割
契約社員	約 割	約 割
臨時的雇用者	約 割	約 割
パートタイマー(短時間)	約 割	約 割
パートタイマー(その他)	約 割	約 割
出向社員	約 割	約 割
派遣労働者	約 割	約 割
職場内の請負社員	約 割	約 割

- 問 9 (1) 非正規従業員に対する雇用管理制度について、貴社の導入状況 1 つに○をつけてください。
 (2) (1) で貴社で導入している制度について、非正規従業員の働きやすさや働きがいの向上にどの程度役に立ちますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

	(1)			(2)				
	導入している	現在は導入していないが 3年以内に導入を予定	導入の予定はない	大いに役に立つ	役に立つ	どちらでもない (役に立つかわからない)	あまり役に立たない	役に立たない
賞与	1	2	3	1	2	3	4	5
定期昇給	1	2	3	1	2	3	4	5
非正規従業員から正規従業員への転換制度	1	2	3	1	2	3	4	5
非正規従業員に対する計画的な OJT	1	2	3	1	2	3	4	5
非正規従業員に対する OFF-JT	1	2	3	1	2	3	4	5
自己啓発に関する支援制度	1	2	3	1	2	3	4	5
福利厚生制度	1	2	3	1	2	3	4	5
退職金制度	1	2	3	1	2	3	4	5
配置・処遇に関する苦情相談制度	1	2	3	1	2	3	4	5
同じ仕事をしている正規従業員との処遇の均衡	1	2	3	1	2	3	4	5
非正規従業員の仕事の裁量を拡大する制度	1	2	3	1	2	3	4	5
仕事と生活の調和のための制度	1	2	3	1	2	3	4	5
メンタルヘルス対策	1	2	3	1	2	3	4	5

問 10. 正規従業員の中で、会社の競争力の源泉を担い、非正規従業員では決して置き換えることのできない仕事をしている人材を「コア人材」と呼ぶことにします。

- (1) 貴社では、正規従業員に占めるコア人材の比率はどのくらいですか。

およそ %

- (2) 今後コア人材の比率をどのようにしたいですか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1. 大幅に増やす	2. やや増やす	3. 変えない	4. やや絞り込む	5. 大幅に絞り込む
-----------	----------	---------	-----------	------------

問 11. 過去 3 年間、今後 3 年間の人材の確保に関する貴社の方針についてあてはまるものを 1 つに○をつけてください。また、最も重視している方針 1 つに○をつけてください。

	あてはまる	どちらでもない	あてはまらない	最も重視している方針
新規学卒採用を重視	1	2	3	1
中途採用を重視	1	2	3	2
高齢者の継続雇用・再雇用を重視	1	2	3	3
女性の積極的な活用	1	2	3	4
人材の社内育成を重視	1	2	3	5
その他 (具体的に)	1	2	3	6

問 1 2. 正規従業員の採用の人数は 3 年前と比べてどのように変化しましたか。また、3 年後はどのように変化する見込ですか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

	過去 3 年間						今後 3 年間					
	増加	やや増加	変わらない	やや減少	減少	わからない	増加	やや増加	変わらない	やや減少	減少	わからない
新規学卒採用	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
中途採用	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

問 1 3. 貴社における採用の課題について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 即戦力となる人材が集まらない	2. 専門的な知識を有する人材が集まらない
3. 将来の会社の経営を任せられる人材が集まらない	4. 従業員の定着率が悪い
5. 採用の際に必要な情報が不足している	6. 求人に対する応募が少ない
7. その他 (具体的)	

能力開発について

問 1 4. 過去 3 年間、今後 3 年間の従業員の能力開発 (Off-JT 又は計画的 OJT) に関する貴社の方針についてあてはまるもの 1 つに○をつけてください。

a. 能力開発の対象者

	過去 3 年間			今後 3 年間		
	全般	一部	対象でない	全般	一部	対象でない
正規従業員	1	2	3	1	2	3
非正規従業員	1	2	3	1	2	3

b. 能力開発の方針

	過去 3 年間	今後 3 年間
会社は積極的に従業員の能力開発に関わる	1	1
会社の行う能力開発は最小限とし、従業員個人の自発的な能力開発に任せる	2	2
会社は能力開発を行わず、従業員個人の自発的な能力開発に任せる	3	3

問 1 5. ここ 1 年で貴社が従業員に対して実施した能力開発は 3 年前と比べてどのように変化しましたか。また、現在の実施状況について十分だとお考えですか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

a. 3 年前と比べた変化

1. 増加	2. やや増加	3. 変わらない	4. やや減少	5. 減少	6. わからない
-------	---------	----------	---------	-------	----------

b. 現在の実施状況

1. 十分だと考えている	2. どちらかといえば十分だと考えている
3. どちらかといえば不十分だと考えている	4. 不十分だと考えている

問 1 6. 能力開発のための各制度のうち貴社で導入している制度について、労働生産性の向上にどの程度役に立ちますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

	大いに役に立つ	役に立つ	どちらでもない(役に立つかわからない)	あまり役に立たない	役に立たない
1. 計画的な OJT	1	2	3	4	5
2. Off-JT 制度	1	2	3	4	5
3. 自己啓発に関する支援制度	1	2	3	4	5
4. 有給教育訓練休暇制度	1	2	3	4	5
5. 資格取得の支援(手当等の支給、昇進・昇格への配慮)	1	2	3	4	5
6. 外部教育訓練に関する情報提供	1	2	3	4	5
7. その他(具体的に)	1	2	3	4	5
8. いずれの制度も導入していない/導入しているが労働生産性の向上に役立っていない	1	2	3	4	5

問 1 7. 貴社の従業員への能力開発に関する課題について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 能力開発を行う時間がない 2. 能力開発を行っても従業員が辞めてしまう 3. 能力開発を行うための金銭的余裕がない 4. 技術革新や業務変更が頻繁なため、能力開発が追いつかない 5. 能力開発の方法がわからない 6. 鍛えがいのある人材が集まらない 7. 指導できる人材が不足している 8. その他(具体的に)
--

経営方針について

問 1 8. 貴社では①これまで以下のうちどのステークホルダー(利害関係者)を重視していましたか。また、②今後は現状と比べて、どのステークホルダーを重視したいとお考えですか。重視する順に 3 つまで番号をご記入ください。

1. 株主・投資家	2. 従業員	3. 親会社・子会社等グループ企業	4. 顧客
5. 金融機関	6. 取引先	7. 地域社会	8. その他(具体的に)

①これまで重視 1位 2位 3位

②今後重視 1位 2位 3位

問 1 9. 貴社の経営方針について、従業員に対してどのように伝えていきますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1. 自分の仕事を全社的な経営方針にまで位置づけられるよう伝達している 2. 自分の仕事を部門レベルの方針にまで位置づけられるよう伝授している 3. 仕事に関係づけずに伝えている 4. 特に何もしていない

問 20. 貴社では会社全体として3年前と比べて下記のような変化がありましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | |
|----------------|-----------|----------|--------------|
| 1. 組織のフラット化 | 2. 組織の統廃合 | 3. 会社の分割 | 4. 会社の合併・統合 |
| 5. アウトソーシングの増加 | 6. 賃金のカット | 7. 人員削減 | 8. 1～7の中にはない |

その他

問 21. 貴社では従業員の労働生産性を向上させるために何が一番大事であると考えていますか。ご自由にお書きください。

■ 貴社についてお伺いいたします。

F 1. 貴社の主たる業種 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|--------------|------------------|
| 1. 建設業 | 2. 製造業（消費関連） | 3. 製造業（素材関連） |
| 4. 製造業（機械関連） | 5. 製造業（その他） | 6. 電気・ガス・熱供給・水道業 |
| 7. 情報通信業 | 8. 運輸業 | |
| 9. 卸売・小売業 | 10. 金融・保険業 | 11. 不動産業 |
| 12. 飲食・宿泊業 | 13. 医療・福祉 | 14. 教育・学習支援業 |
| 15. その他のサービス業 | 16. その他（ | ） |

F 2. 貴社の設立年をお答え下さい。

西 暦

--	--	--	--

 年

F 3. 貴社の現在および 3 年前の売上高をご記入下さい。また、3 年後の見込みについて現在の売上高を **100** としてどのくらいかご記入下さい。

（現在）	_____	百万円
（3 年前）	_____	百万円
（3 年後）	現在の売上高を 100 とすると	_____

F 4. 貴社の現在および 3 年前の経常利益をご記入下さい。また、3 年後の見込みについて現在の経常利益を **100** としてどのくらいかご記入下さい。

（現在）	_____	百万円
（3 年前）	_____	百万円
（3 年後）	現在の経常利益を 100 とすると	_____

F 5. 貴社の現在の競争力は、同業同規模の他社と比べてどの程度ですか。また、3年後の見込みはいかがですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

	現在						3年後					
	強い	やや強い	まあまあ	やや弱い	弱い	わからない	強い	やや強い	まあまあ	やや弱い	弱い	わからない
競争力	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

F 6. 貴社の従業員数をご記入ください。(派遣労働者、職場内の請負社員)

_____人

F 7. 貴社の現在および3年前の正規従業員数をご記入下さい。また、3年後の見込みについて現在の正規従業員数を100としてどのくらいかご記入下さい。

(現在) _____人
 (3年前) _____人
 (3年後) 現在の正規従業員数を100とすると_____

F 8. 貴社の現在および3年前の非正規従業員数をご記入下さい。また、3年後の見込みについて現在の非正規従業員数を100としてどのくらいかご記入下さい。

(現在) _____人
 (3年前) _____人
 (3年後) 現在の非正規従業員数を100とすると_____

F 9. 貴社における正規従業員、非正規従業員それぞれの過不足の状況はいかがですか。それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

(正規従業員)	1. 不足している	2. 適正である	3. 過剰である
(非正規従業員)	1. 不足している	2. 適正である	3. 過剰である

F 10. 平成15年12月現在の正規従業員・非正規従業員の数それぞれの区分にわけて、ご記入下さい。

(正規従業員)		千				人				(非正規従業員)		千				人			
性別	男性									契約社員									
	女性										臨時雇用者								
年代別	20代以下									パートタイマー(短時間)									
	30代									パートタイマー(その他)									
	40代									出向社員									
	50代									派遣労働者									
	60代以上									職場内の請負社員									

F 1 1. 以下の職種の、貴社の正規従業員に占める比率をお答えください。(それぞれ 1 つに○をつけてください)

	10%未満	10～20%未満	20～30%未満	30～40%未満	40～50%未満	50～60%未満	60～70%未満	70～80%未満	80～90%未満	90%以上
管 理 職	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
研 究 ・ 技 術 職	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
事 務 職	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

F 1 2. 以下の比率をお答え下さい。(それぞれ 1 つに○をつけてください)

	10%未満	10～20%未満	20～30%未満	30～40%未満	40～50%未満	50～60%未満	60～70%未満	70～80%未満	80～90%未満	90%以上
全管理職中、女性管理職の占める比率	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全正規従業員中、中高年者（45 歳以上）の占める比率	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全正規従業員中、大卒者の占める比率	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全非正規従業員中、女性の占める比率	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

F 1 3. 最近の貴社の正規従業員について、採用して 1 年後の定着率はどのくらいですか。あてはまるものの 1 つに○をつけてください。

1. 10%未満	2. 10%以上 20%未満	3. 20%以上 30%未満
4. 30%以上 40%未満	5. 40%以上 50%未満	6. 50%以上 60%未満
7. 60%以上 70%未満	8. 70%以上 80%未満	9. 80%以上 90%未満
10. 90%以上 100%未満	11. 100%	

■ 質問は以上です。最後までご協力いただきありがとうございました。

2 従業員調査

労働者の働く意欲と雇用管理のあり方に関する調査 (従業員調査)

■ 調査ご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この調査は、就業者の方を対象として、就労状況、仕事への満足度などを明らかにすることを目的として実施させていただくものです。調査の実施は、ウィルワン株式会社が独立行政法人労働政策研究・研修機構の委託を受けて担当しております。結果につきましては、労働に関する政策研究や政策議論に資するよう活用させていただくとともに、厚生労働省におきましても労働政策に関する基礎資料として活用されます。また、取りまとめた結果は当機構のホームページ上でも公表する予定です (<http://www.jil.go.jp/>)。

本調査は匿名調査であり、データは〇〇%など、すべて統計数字として処理をいたします。あなたのお名前などが流出する可能性は一切ありません。

ご多用中誠に恐縮に存じますが、本調査の趣旨や手順をご理解の上、調査にご協力賜りたく、何とぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

平成 16 年 1 月

独立行政法人
労働政策研究研修機構
情報解析部長 本川 明

厚生労働省 政策統括官付
労働政策担当参事官室
労働経済調査官 藤井 宏一

～ご記入に際して～

1. 調査内容は、原則として **2003 年 12 月**現在の状況についてご記入ください。
2. 「あてはまるもの 1 つ」「あてはまるものすべて」等調査票に書いてある指示をお読みになりながら、該当する番号に○印、または該当する数字をご記入ください。
3. 出来る限りご記入いただき、空欄があっても結構ですのご返送ください。
4. ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒（切手不要）にて **2004 年 1 月 23 日（金）まで**にご投函ください。
5. 調査についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

調査実施一般

ウィルワン株式会社（プライバシーマーク認定企業） 担当：****

TEL:*****/E-mail:*****

調査内容

労働政策研究・研修機構 情報解析部情報管理課 担当：****

TEL:*****/FAX:*****/E-mail:*****

独立行政法人労働政策研究・研修機構（理事長：小野 旭）

独立行政法人労働政策研究・研修機構は、内外の労働問題や労働政策について総合的な調査研究等を行うとともに、その成果を活用した行政職員等に対する研修を実施することにより、労働政策の立案や労働政策の効果的で効率的な推進に寄与し、労働者福祉の増進と経済の発展に資することを目的とします。

■この調査では、「就業形態」、「OJT」、「Off-JT」については以下のとおりとします。

・就業形態

従業員	正規従業員	雇用している労働者のうち特に雇用期間を定めていない者。なお、パートタイマー及び他企業への出向者は除く。	
	非正規従業員	契約社員	専門的職責に従事させることを目的に契約に基づき雇用し、雇用期間の定めのある者。
		臨時的雇用者	臨時的にまたは日々雇用している者で、1カ月以内の雇用期間の定めのある者。
		パートタイマー（短時間）	いわゆる正社員より1日の所定労働時間が短いか、1週の所定労働日数が少ない者。雇用期間は1カ月を超えるか、または定めのない者。
		パートタイマー（その他）	いわゆる正社員と1日の所定労働時間と1週の所定労働日数がほぼ同じ者。雇用期間は1カ月を超えるか、または定めのない者でパートタイマーその他これに類する名称で呼ぶ者。
		出向社員	他企業より出向契約に基づき出向してきている者。出向元に籍をおいているかどうかは問わない。
その他	派遣労働者	「労働派遣法」に基づく派遣元事業所から派遣された者。	
	職場内の請負社員	業務請負契約により、貴社の事業所内で働いている者。	

- ・OJT：日常の業務につきながら行われる教育訓練
- ・Off-JT：通常の仕事を一時的に離れて行う教育訓練・研修

※該当しない状況についての質問がある場合には、空欄にして次の問へお進みください。可能な範囲でご回答ください。

労働時間について

問1. あなたの労働時間は3年前と比べてどのように変化しましたか。また、その変化についてどう思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

a. 労働時間の長さ

1. 長くなった	2. ほとんど変化していない
3. 短くなった	4. 3年前には今の会社にいなかった

b. 労働時間の柔軟性（都合の良い時間が選択できること）

1. 柔軟性が高まった	2. 柔軟性が低下した
3. ほとんど変化していない	4. 3年前には今の会社にいなかった

c. 変化についての満足度

1. 満足している	2. どちらかといえば満足している
3. どちらともいえない	4. どちらかといえば満足していない
5. 満足していない	6. 3年前には今の会社にいなかった

問2. あなたが希望する労働時間（週平均）を1つに○をつけてください。

1. 20時間未満	2. 20～30時間未満	3. 30～34時間未満
4. 35～40時間未満	5. 40～45時間未満	6. 45～50時間未満
7. 50時間以上→（具体的に）時間		

賃金について

問3. あなたの賃金は3年前と比べてどのように変化しましたか。また、その変化についてどう思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

a. 賃金の水準

1. 低くなった	2. 高くなった
3. ほとんど変化していない	4. 3年前には今の会社にいなかった

b. 賃金制度

1. 業績がより反映されるようになった	2. 業績が反映されなくなった
3. ほとんど変化していない	4. 3年前には今の会社にいなかった

c. 賃金格差

1. 同世代の間で従業員間の格差が拡大した	2. 同世代の間で従業員間の格差が縮小した
3. ほとんど変化していない	4. 3年前には今の会社にいなかった

d. 変化についての満足度

1. 満足している	2. どちらかといえば満足している
3. どちらともいえない	4. どちらかといえば満足していない
5. 満足していない	6. 3年前には今の会社にいなかった

能力開発について

問4. あなたは、能力開発の重要性についてどのようにお考えですか。また、3年前と比べて考え方はどのように変化しましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

	現 在				3年前と比べて				
	重要である	どちらかといえば重要である	どちらかといえば重要ではない	重要ではない	重要だと思ふようになった	どちらかといえば重要だと思ふようになった	どちらかといえば重要ではないと思ふようになった	重要ではないと思ふようになった	3年前には今の会社にいなかった
能力開発の重要性	1	2	3	4	1	2	3	4	5

問5. あなたは、過去1年間に、以下のようなことを行いましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 会社が行う教育訓練 (OJT、Off-JT)	2. 自己啓発
3. 特に行っていない	

問6. あなたが能力開発を行う上で障害となることは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 仕事が忙しくて勉強をする時間がない	2. 育児・家事等が忙しくて勉強をする時間がない
3. 勉強をするためのお金がない	4. 自分が求める内容の勉強の機会がない
5. 何を勉強すればいいのかわからない	6. 会社で勉強の機会が十分提供されていない
7. 勉強の機会に関する情報がない	8. 仕事を教えてくれる上司や先輩がいない
9. その他 (具体的に)	10. 特にない

問7. あなたの能力開発に関する考え方について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

	Aに近い	どちらかという とAに近い	どちらともいえない	どちらかという とBに近い	Bに近い	
A 自己啓発を中心として能力を開発することが重要である	1	2	3	4	5	B 会社による教育訓練を中心として能力を開発することが重要である
A 会社や職場を変えながら能力を開発することが重要である	1	2	3	4	5	B 一つの会社や職場でじっくりと能力を開発することが重要である
A OJTによって能力開発を行うのがよい	1	2	3	4	5	B OFF-JTによって能力開発を行うのがよい
A 会社に勤めながら能力開発を行うのがよい	1	2	3	4	5	B 会社を一度辞めてから能力開発を行うのがよい

仕事と生活のバランスについて

問8. あなたの仕事と生活のバランスについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。

a. 仕事と自分の生活時間

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 仕事を中心である | 2. どちらかといえば仕事を中心である |
| 3. 仕事と自分の生活時間が適度に配分されている | 4. どちらかといえば自分の生活時間が中心である |
| 5. 自分の生活時間が中心である | |

b. 仕事と自分の生活時間のバランス

- | | | |
|-------------|-------------|------------------|
| 1. 希望にあっている | 2. 仕事を増やしたい | 3. 自分の生活時間を増やしたい |
|-------------|-------------|------------------|

仕事に対するストレス

問9. あなたは仕事にストレスを感じていますか。3年前と比べてどのように変化しましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。また、現在、仕事にストレスを感じている理由として、あてはまるものすべてに○をつけてください。

a. 現在

- | | | | |
|----------|----------|------------|-----------|
| 1. 強く感じる | 2. やや感じる | 3. あまり感じない | 4. 全く感じない |
|----------|----------|------------|-----------|

b. 3年前と比べて

- | | | | |
|----------|--------------------|-------------|------------|
| 1. 強くなった | 2. やや強くなった | 3. あまり変わらない | 4. やや弱くなった |
| 5. 弱くなった | 6. 3年前には今の会社にいなかった | | |

c. ストレスを感じる理由 ※現在、ストレスを「1. 強く感じる」または「2. やや感じる」とお答えになった方のみお答え下さい。

- | | | |
|------------------|---------------------|-------------|
| 1. 責任が重い | 2. 相談する相手がいない | 3. 働く時間が長い |
| 4. 仕事が適性に合わない | 5. 情報化・技術革新への対応が困難 | |
| 6. 会社の将来性に不安を感じる | 7. 自分の雇用の安定性に不安を感じる | |
| 8. 仕事の成果が重視される | 9. 同僚との競争が激しい | 10. 仕事量が多い |
| 11. 非定型的業務が多い | 12. 情報が多く処理しきれない | 13. 職場環境が悪い |
| 14. 職場の人間関係が悪い | 15. その他 () | |

現在の仕事に対する意識

問10. あなたの働く意欲は3年前と比べてどのように変化しましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 意欲が低下した	2. どちらかといえば意欲が低下した	3. どちらともいえない
4. どちらかといえば意欲が向上した	5. 意欲が向上した	6. 3年前には今の会社にいなかった

問11. あなたは現在の仕事についてどのように感じていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらでもない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
仕事を通じて達成感を味わうことができる	1	2	3	4	5
仕事を通じて自分が成長していると感じる	1	2	3	4	5
職場で必要とされていると感じる	1	2	3	4	5
私の仕事は会社や部門の業績に貢献している	1	2	3	4	5
私の仕事は顧客や社会の役に立っている	1	2	3	4	5
自分の能力を十分発揮して働けている	1	2	3	4	5

問12. あなたは、現在の仕事の以下の事項についてそれぞれどの程度満足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。また、仕事全体の内訳のうち、仕事をする上で重視するものを5つまで○をつけてください。

	満足している	どちらかといえば満 足している	どちらともいえない	どちらかといえば満 足していない	満足していない	重視するもの (5つまで)
仕事全体	1	2	3	4	5	
個人の仕事の裁量	1	2	3	4	5	1
賃金	1	2	3	4	5	2
休日・休暇	1	2	3	4	5	4
仕事の内容	1	2	3	4	5	5
仕事の量	1	2	3	4	5	6
職位	1	2	3	4	5	7
職場の人間関係	1	2	3	4	5	8
研修・教育訓練の機会	1	2	3	4	5	9
昇進の見込み	1	2	3	4	5	10
雇用の安定性	1	2	3	4	5	11
あなたに対する評価・処遇	1	2	3	4	5	12
就業形態 (注)	1	2	3	4	5	13
仕事と生活のバランス	1	2	3	4	5	14
職場環境 (作業環境等)	1	2	3	4	5	15
福利厚生	1	2	3	4	5	16
通勤時間	1	2	3	4	5	17
会社の将来性	1	2	3	4	5	18
会社の社会的評価	1	2	3	4	5	19

(注) 正規従業員、パートタイマー・契約社員・派遣労働者等の区分のこと。以下同じ。

問1 3. あなたの会社には、以下のような制度は導入されていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。導入されている制度の中で働きやすさ、働きがいをも高める上で重要であると思うものすべて○をつけてください。

	導入されており利用されたことがある(適用されたことがない)	導入されているが、利用できないまたは利用されたことがない(適用されたことがない)	導入されていない	わからない	重要なもの
目標管理制度	1	2	3	4	1
仕事の成果を賃金に反映させる制度	1	2	3	4	2
ストックオプション制度	1	2	3	4	3
年俸制	1	2	3	4	4
自己申告制度	1	2	3	4	5
社内公募制度	1	2	3	4	6
配置・処遇に関する苦情相談制度	1	2	3	4	7
計画的なOJT	1	2	3	4	8
Off-JT制度	1	2	3	4	9
自己啓発に関する支援制度	1	2	3	4	10
有給教育訓練休暇制度	1	2	3	4	11
資格取得の支援(手当等の支給、昇進・昇格への配慮等)	1	2	3	4	12
外部教育訓練に関する情報提供	1	2	3	4	13
専門職制度	1	2	3	4	14
裁量労働制	1	2	3	4	15
非正規従業員と正規従業員間の転換制度	1	2	3	4	16
フレックスタイム制度	1	2	3	4	17
短時間勤務制度	1	2	3	4	18
変形労働時間制	1	2	3	4	19
在宅勤務制度	1	2	3	4	20
長期休暇制度(リフレッシュ休暇、ボランティア休暇等)	1	2	3	4	21
休業期間が1年を超える育児休業制度	1	2	3	4	22
休業期間が3ヶ月を超える介護休業制度	1	2	3	4	23
育児・介護等を理由に退職した従業員を対象とした再雇用制度	1	2	3	4	24
育児・介護のための始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ	1	2	3	4	25
育児・介護のための残業・休日労働の免除	1	2	3	4	26
(正規従業員について)転居を伴う転勤のない地域限定の勤務制度	1	2	3	4	27
定年退職者の再雇用・60歳を越えた定年制	1	2	3	4	28

問1 4. 3年前と比べて、処遇や評価に関する納得感、公平感に変化しましたか。それぞれについてあてはまるもの1つに○をつけてください。

	高まった	変わらない	低下した	3年前には今の会社にはいなかった
設定された目標への納得感	1	2	3	4
仕事の成果や能力の評価に関する公平感	1	2	3	4
評価の賃金・賞与への反映に対する納得感	1	2	3	4
目標達成に向けた努力への評価に対する納得感	1	2	3	4

問 1 5. 以下の事項について、今の会社の考えにあてはまると思うものすべて○をつけてください。また、あなた自身が働きやすさや働きがいをも高める上で重視するものに**3**つまで○をつけてください。

	今の会社の考え (あてはまるもの すべてに○)	あなた自身が重視 するもの (3つまで)
労働時間が長くなりすぎないように配慮している	1	1
個人の業績に応じた評価をしている	2	2
年功に応じた評価をしている	3	3
評価結果に対する従業員の意見や苦情に対応している	4	4
正規従業員と非正規従業員の均等処遇を進める	5	5
従業員の自己啓発を積極的に支援している	6	6
従業員に対し必要なスキル（技能・能力）を明確にしている	7	7
育児・介護を行う従業員に対して積極的に支援している	8	8
休暇を取りやすい雰囲気づくりをしている	9	9
メンタルヘルスの相談対応を積極的に行っている	10	10
男女の均等待遇を重視している	11	11

問 1 6. あなたが現在の仕事について理由はなんですか。重視するものに**3**つまで○をつけてください。

1. 自分のやりたい仕事ができる	2. やりがいのある仕事だから
3. 雇用が安定している	4. 収入が安定している
5. 賃金が高い	6. 専門的な技能・資格が活かせる
7. 福利厚生が充実している	8. 能力に見合った仕事だから
9. 勤務時間や勤務日数が選べるため	10. 自分の能力を高めることができそうだったため
11. 職場環境が良かったため	12. 通勤時間が短かったため
13. 他に働くことができる会社がなかったため	14. 家計補助・学費等を得るため
15. その他（具体的に)	

問 1 7. 現在あなたは、失業に対する不安を感じていますか。また、**3**年前と比べてどのように変化してきましたか。あてはまるもの**1**つに○をつけてください。

	現 在					3年前と比べて					
	感じて いる	どちらか といえ ば感じる	どちら ともい えない	い ど ち ら か と い え ば 感 じ て い な い	感 じ て い な い	強 く な っ た	ど ち ら か と い え ば 強 く な っ た	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い え ば 弱 く な っ た	弱 く な っ た	3 年 前 に は 今 の 会 社 に い な か っ た
失業に対する不安	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6

問 1 8. あなたは転職の経験がありますか（学生時代のアルバイトを除く）。経験がある場合、転職回数は何回ですか。

1. 転職経験あり → 転職回数 () 回	2. 転職経験なし
------------------------	-----------

問 19. あなたは、今後も現在の就業形態を続けていきたいと思いませんか。1 つに○をつけてください。
あなたの就業形態が「派遣」である場合は派遣元について、「職場内の請負社員」である場合は請負元についてお答えください。

1. 別の会社で他の就業形態に変わりたい	2. 現在の会社で他の就業形態に変わりたい
3. 別の会社で現在の就業形態を続けたい	4. 現在の会社で現在の就業形態を続けたい
5. 独立して事業をやりたい	6. 仕事はすっかりやめたい
7. その他（具体的に	）

問 19-1. (問 19 で「1. 別の会社で他の就業形態に変わりたい」「2. 現在の会社で他の就業形態に変わりたい」「3. 別の会社で現在の就業形態を続けたい」のいずれかに回答した方のみお答え下さい) 会社や就業形態を変えたいと思う理由として、あてはまるものに 3 つまで○をつけてください。

1. 仕事の内容が自分の能力・適性に合わない	2. 賃金が低い
3. 職場の人間関係が良くない	4. 会社の経営状態が良くない
5. 資格・技能をいかしたい	6. 安定した仕事につきたい
7. 責任が重くやりがいがある仕事につきたい	8. 自分の都合がよい時間に働きたい
9. 家庭生活や他の活動と両立しやすい仕事につきたい	10. 通勤時間が短い仕事につきたい
11. 責任が軽い仕事につきたい	12. その他（具体的に
	）

問 20. 以下の事項についてどのように思いませんか。それぞれについてあてはまるもの 1 つに○をつけてください。

	そう思う	どちらかという	ない	どちらともいえない	どちらかという	そう思わない
<仕事をする事について>						
働かなくても暮らせるのなら、定職につきたくない	1	2	3	4	5	
自分から仕事をとったら何も残らない	1	2	3	4	5	
仕事は単にお金を稼ぐ手段にすぎない	1	2	3	4	5	
会社の人や仕事のつながりを離れて、趣味や勉強、社会活動を行うことが大切だ	1	2	3	4	5	
<働き方について>						
出世や昇進のためにはつらいことでも我慢したい	1	2	3	4	5	
困難を伴っても自分がやりたい仕事をした	1	2	3	4	5	
自分の専門的知識・技能の発揮できる仕事をした	1	2	3	4	5	
能力が発揮できる機会があれば昇進にこだわらない	1	2	3	4	5	
<雇用慣行について>						
同じ会社で一生働きたい	1	2	3	4	5	
長期雇用制度を維持するべきだ	1	2	3	4	5	
年功制賃金を縮小する方向で見直すべきだ	1	2	3	4	5	
<処遇について>						
もっと成果を重視した処遇にするべきだ	1	2	3	4	5	
成果を短期的に反映させなくても長期的に反映させればよい	1	2	3	4	5	
非正規従業員と正規従業員の均等待遇を進めるべきだ	1	2	3	4	5	
特定の人材を幹部候補生として早期に選抜・育成するべきだ	1	2	3	4	5	
能力に応じて特定の人に仕事量に偏りが生じてよい	1	2	3	4	5	
<仕事と生活の調和について>						
仕事のために家庭生活が犠牲になることもやむをえない	1	2	3	4	5	
育児や介護等家族のために休暇を取得することは当然である	1	2	3	4	5	
仕事以外の生活に合った働き方ができるようになるべきである	1	2	3	4	5	
ライフステージに合わせて働き方を選ぶべきだ	1	2	3	4	5	

経営方針について

問2 1-1. あなたは勤めている会社の経営方針をどの程度知っていますか。

1. きちんと理解している 2. だいたい理解している 3. あまり知らない 4. 知らない

問2 1-2. (問2 1-1で「きちんと理解している」「だいたい理解している」と答えた場合) あなたは、会社の経営方針についてどう思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 同意できる 2. やや同意できる 3. やや同意できない 4. 同意できない

問2 1-3. 現在の会社の経営方針について、どのように伝えられていますか。

1. 自分の仕事を全社的な経営方針にまで位置づけられるよう伝えられている
 2. 自分の仕事を部門レベルの方針にまで位置づけられるよう伝えられている
 3. 自分の仕事とは関係なく伝えられている
 4. 特になにも伝えられていない

職場と仕事の変化

問2 2. 職場の雰囲気は、現在どうですか。また、3年前と比べてどのように変化してきましたか。それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

	現 在					3年前と比べて					
	強い	強い どちらか といえ ば	い ど ち ら か と も い え な	弱い ど ち ら か と い え ば	弱い	強 ま っ た	強 ま っ た ど ち ら か と い え ば	い ど ち ら か と も い え な	弱 ま っ た ど ち ら か と い え ば	弱 ま っ た	社 に い な か っ た 3 年 前 に は 今 の 会 社
部下や後輩を育てようという雰囲気	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
一人ひとりの能力を活かそうという雰囲気	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
ゆとりをもって仕事をしている雰囲気	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
職場の業績や成果をあげようという雰囲気	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
社員同士が競い合う雰囲気	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
仲間と協力して仕事をしようという雰囲気	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
一人ひとりが自由に意見を言える雰囲気	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
自分の生活時間を大切にしようという雰囲気	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6

問2 3. 以下のうち、3年前と比べた場合のあなたの職場の変化についてあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 同じ正規従業員でも労働時間が長い者と短い者がいる 2. 外部から新たなノウハウを導入している
 3. ノウハウの蓄積・伝承ができていない 4. 製品・サービスの質が向上している
 5. 正規従業員の士気が向上している 6. 能力開発が行いやすくなっている
 7. 求められる業務の処理のスピードが高まった 8. 特定の人に仕事が偏るようになった
 9. 社内コミュニケーションが円滑になった 10. 人員削減が行われている
 11. 合併や分割が行われた 12. 組織の統廃合が行われた
 13. 賃金の削減が行われた 14. 3年前には今の会社になかった

問 2 4. あなたの仕事は、3 年前と比べてどのように変化しましたか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

a. 担当している仕事の量

1. 減った 2. 変わらない 3. 増えた 4. 3年前には今の会社にいなかった

b. 担当している仕事の範囲

1. 狭まった 2. 変わらない 3. 広がった 4. 3年前には今の会社にいなかった

c. 自分の裁量に任されている範囲

1. 狭まった 2. 変わらない 3. 広がった 4. 3年前には今の会社にいなかった

d. 仕事の分担・役割

1. 不明確になった 2. 変わらない 3. 明確になった 4. 3年前には今の会社にいなかった

e. 仕事に対する責任

1. 減った 2. 変わらない 3. 増えた 4. 3年前には今の会社にいなかった

f. 仕事の成果

1. あまり問われなくなった 2. 変わらない 3. 厳しく問われるようになった
4. 3年前には今の会社にいなかった

g. 仕事で求められる能力や知識

1. 減った 2. 変わらない 3. 増えた 4. 3年前には今の会社にいなかった

<問 2 5 は非正規従業員の方への質問です。正規従業員の方は F 1 へお進みください。>

問 2 5. 以下の項目について、一緒に仕事をしている正規従業員と比べてあなたの仕事はどうですか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

a. 担当している仕事の量

1. 多い 2. やや多い 3. 同じ 4. やや少ない 5. 少ない

b. 担当している仕事の範囲

1. 広い 2. やや広い 3. 同じ 4. やや狭い 5. 狭い

c. 自分の裁量に任されている範囲

1. 広い 2. やや広い 3. 同じ 4. やや狭い 5. 狭い

d. 仕事に対する責任

1. 重い 2. やや重い 3. 同じ 4. やや軽い 5. 軽い

e. 仕事で求められる能力や知識

1. 多い 2. やや多い 3. 同じ 4. やや少ない 5. 少ない

■あなたご自身について、以下の設問にお答えください。

F 1. 性別をお答え下さい。

1. 男性	2. 女性
-------	-------

F 2. 年齢をお答え下さい。

_____ 歳

F 3. あなたの現在の就業形態について、あてはまるものを 1 つに○をつけてください。

1. 正規従業員	2. 出向社員	3. 契約社員	4. 臨時的雇用者
5. パートタイマー (短時間)	6. パートタイマー (その他)	7. 派遣労働者	8. 職場内の請負社員

F 4. あなたの現在の職種について、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1. 専門的な仕事	2. 技術的な仕事	3. 管理的な仕事	4. 事務の仕事
5. 販売の仕事	6. サービスの仕事	7. 保安の仕事	8. 運輸・通信の仕事
9. 技能工・生産工程の仕事	10. 労務作業等の仕事		

F 5. あなたの現在の役職について、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1. 役員	2. 部長クラス	3. 課長クラス	4. 係長クラス	5. 役職はない
-------	----------	----------	----------	----------

F 6. あなたの年収 (税込み) について、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1. 100 万円未満	2. 100～150 万円未満	3. 150～200 万円未満
4. 200～300 万円未満	5. 300～400 万円未満	6. 400～500 万円未満
7. 500～600 万円未満	8. 600～700 万円未満	9. 700～800 万円未満
10. 800～1000 万円未満	11. 1000～1500 万円未満	12. 1500 万円以上

F 7. 通常の週平均の労働時間 (時間外労働を含む) について、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1. 20 時間未満	2. 20～30 時間未満	3. 30～34 時間未満
4. 35～40 時間未満	5. 40～45 時間未満	6. 45～50 時間未満
7. 50 時間以上→ (具体的に _____) 時間		

F 8. あなたが、現在の勤務先 (企業) で働き始めてどのくらいですか。

_____ 年

F 9. あなたは、現在の会社の業績についてどのように認識していますか。

1. 上がっている	2. どちらでもない	3. 下がっている
-----------	------------	-----------

F 10. 世帯状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 配偶者がいる	2. 子供がいる	3. 同居の親がいる
-----------	----------	------------

※F 10で「1. 配偶者がいる」と回答した方のみお答え下さい。

F 10-1. あなたの配偶者は、就業していますか。

1. 就業している	2. 就業していない
-----------	------------

※すべての方がお答え下さい。

F 1 0 - 2. あなたの世帯の主たる家計の維持者は誰ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. あなた自身	2. 配偶者	3. 親	4. 子	5. その他
----------	--------	------	------	--------

F 1 1. 現在あなたは育児や、両親の介護をしていますか。

(育児)

1. している	2. していない
---------	----------

(両親の介護)

1. している	2. していない
---------	----------

F 1 2. あなたの最終学歴に○をつけてください。

1. 中学	2. 高校	3. 専修学校・各種学校	4. 高専・短大	5. 大学	6. 大学院
-------	-------	--------------	----------	-------	--------

■最後にあなたがお勤めの会社について、以下の設問にお答えください。

(注) あなたの就業形態が「派遣」である場合は派遣元について、「職場内の請負社員」である場合には請負元についてお答え下さい。

F 1 3. あなたが、現在お勤めの会社（本社、支社などを含む）の、従業員規模をお答えください。

1. 100人未満	2. 100～299人	3. 300～499人	4. 500～999人	5. 1000人以上
-----------	-------------	-------------	-------------	------------

F 1 4. あなたが、現在お勤めの会社の、業種をお答えください。あてはまるもの1つをお選びください。

1. 建設業	2. 製造業（消費関連）	3. 製造業（素材関連）
4. 製造業（機械関連）	5. 製造業（その他）	
6. 電気・ガス・熱供給・水道業	7. 情報通信業	8. 運輸業
9. 卸売・小売業	10. 金融・保険業	11. 不動産業
12. 飲食・宿泊業	13. 医療・福祉	14. 教育・学習支援業
15. その他サービス業	16. その他（	）

■質問は以上です。最後までご協力いただきありがとうございました。

労働政策研究報告書 No. 40

成果主義と働くことの満足度

～2004年JILPT「労働者の働く意欲と雇用管理のあり方に関する調査」の再集計による分析～

発行年月日 2005年8月31日

編集・発行 独立行政法人 労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23

(編集) 研究調整部研究調整課 TEL:03-5991-5104

(販売) 広報部成果普及課 TEL:03-5903-6263

FAX:03-5903-6115

印刷・製本 有限会社 太平印刷

©2005

* 労働政策研究報告書全文はホームページで提供しております。(URL <http://www.jil.go.jp/>)